

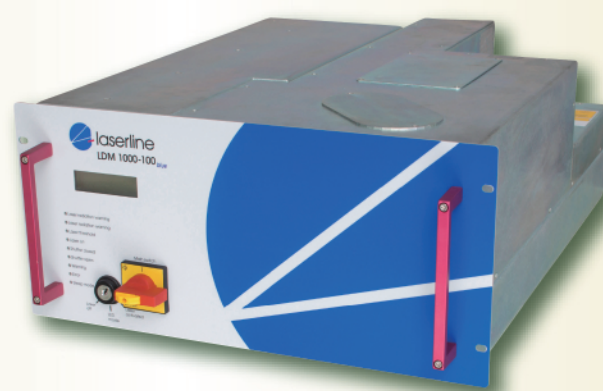
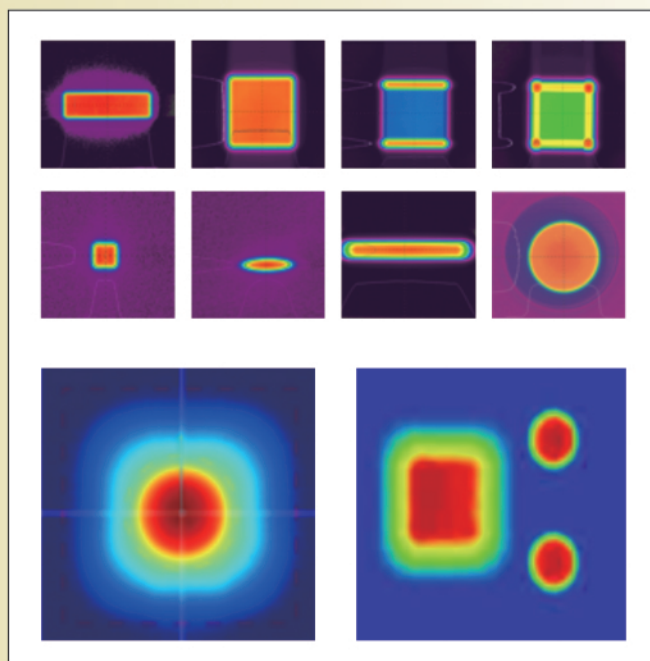
レーザー学会産業賞「貢献賞」受賞



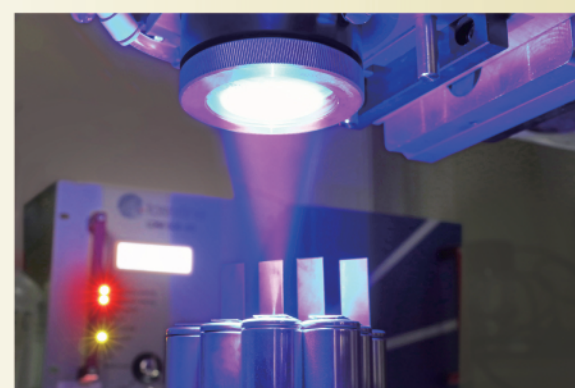
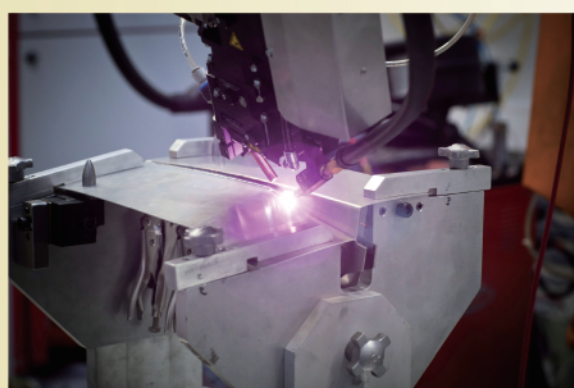
容易なビーム操作性・成形性を有する 半導体レーザー加工機の量産適用と、 その加工工法普及への貢献



レーザーライン株式会社



- 高出力半導体レーザー：LDFシリーズ
- 小型高出力半導体レーザー：LDMシリーズ、LDMblueシリーズ



製品の特長、用途

半導体レーザーのビームは、他の赤外レーザーと異なり、発振波長が900nm帯と短く、応用により良い結果が得られます。他のガウシアンビームと異なり、トップハット型の均一なビーム形状を有し、ビーム整形が容易で加工対象物や、加工現象に合わせ様々なビーム形状を作ることが出来、コンパクト、低消費電力なレーザー発振器です。

また、2019年から世界で一斉発売したキロワット級のCW発振ブルー半導体レーザーは、全く新しいレーザーで、GaN系半導体レーザー素子を実装するだけで450nm波長を高効率で発振し、今後の大出力化により更にレーザー加工工法の適用を広げます。例、自動車の電動化、バッテリーや電装品に使用される銅の加工など

- レーザーライン社の半導体レーザーの容易な操作性とビーム整形技術で、各種産業分野お客様の量産適用、並びにレーザー加工工法普及に尽力し、常に最新技術をお届け致します。